

誰でも！いつでも！いろいろできる

こどりもり

練馬区立こどもの森通信

vol.20

発行：PLAYTANK 2018年6月

所在地：練馬区羽沢2-32-7

開進第四小学校ならび

時間：9時～17時（3月～9月）

9時～16時半（10月～2月）

WEB：nerima-kodomonomori.com

FB：fb.com/nerimakodomonomori

練馬区立 こどもの森

「こどりもり」は、イベント情報やプレーリーダーからの

メッセージを、5歳児以上と保護者にお届けする通信です。

お日さまアートミニ講座

まいしゅうど にちよう 毎週土・日曜 13:30～14:30

くも うてんちゅうし ※曇り、雨天中止

むし あそ 虫メガネで遊ぼう！

なふだ つく 名札やキーホルダーが作れるよ。 でんじゅ プレーリーダーがちょっとコツを伝授するぞ。

たいよう みず もと 太陽と水を求めて、 い もの うご だ 生き物たちも動き出す。 ことし なんしゅるい い もの あ 今年は何種類の生き物に会えるかな？

あつ つか 暑さに疲れたら… てづく ひとやす 手作りハンモックで一休み。



まいしゅう にちよう 每週日曜は 10:00～15:00

こさめけっこ 小雨決行

どろ や 泥だんごを焼いたり、 くさばな に 草花を煮たりもできるよ。



た もの ひつよう も ※食べ物、アルミホイルなど必要なものはおうちから持ってきてね。

6月24日(日)

挑戦者待ってるぜ。

7月22日(日)

13:00～練習

14:00～試合 こさめけっこ 小雨決行

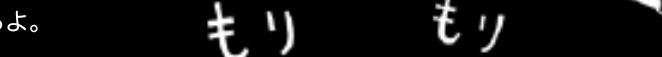
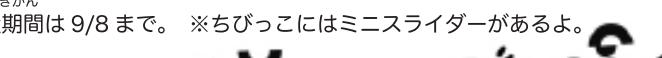
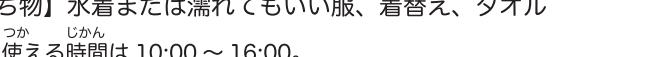
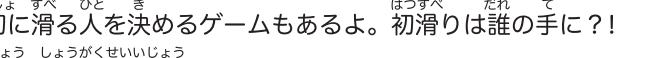
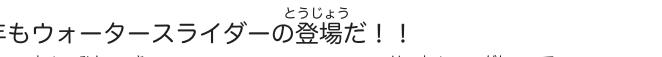
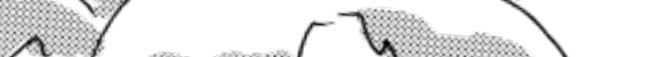
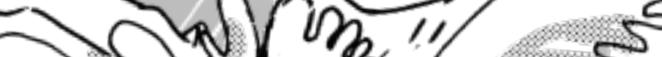
クギさし大会

逃走中

がつ にち ど 6月23日(土)

がつ にち ど 7月28日(土)

15:30～ プレーリーダーがハンターだ!!



ウォータースライダー開き

がつ にち うてんけっこ 7月21日 13:30～ ※雨天決行

ことし とうじょう 今年もウォータースライダーの登場だ！！

さいしょ すべ ひと き 最初に滑る人を決めるゲームもあるよ。初滑りは誰の手に？！

たいしょ しょうがくせいいいじょう 【対象】小学生以上

も もの みずぎ ぬ ふく きが 【持ち物】水着または濡れてもいい服、着替え、タオル

ちゅう つか じかん 注）使える時間は 10:00～16:00。

てんこう きおん やす げつようび 天候や気温によりお休み。月曜日はメンテナンスのためお休みです。

せっちゃん 設置期間は 9/8まで。※ちびっこにはミニスライダーがあるよ。

日曜日のたき火は、夏休みの間お休みします。9/16から再開するよ。

もり もり

こどもの森の利用案内

- ★ こどもの森は、時間中いつ来ていつ帰ってもOK。お金はかかりません。
- ★ こどもの森にある道具は自由に使えます。使い終わったら片づけてね。
- ★ おやつやお弁当を食べることもできます。ごみは持って帰ってね。
- ★ 汚れてもいい服や靴で来てね。着替えもあるといいよ。
- ★ なくなったら困る大事なものは、おうちにおいてくるか身に着けて遊んでね。



大人のみなさんへ



こどもの森が考える 素敵な「ごちゃまぜ感」

こどもの森4年目の春が終わり、早くも夏がやってきました！虫捕り、お花摘み、水遊び、泥遊び——毎日子どもたちのワクワクがあふれています。

来園者の世代はさまざま。生まれて間もない赤ちゃんから、小学生、中学生と子どももいろいろ。大人だって、ボランティアの大学生がいたり、お父さんお母さん、地域のおじいちゃんおばあちゃんまで、こどもの森につどいます。そんな「ごちゃまぜ感」がこどもの森の特色であり、子ども達に経験してほしいものだよね！プレーリーダー達で、よくそんな話をします。たくさんの人々が入り混じっている場所ならではの出来事や経験が、子ども達にとっていろんな気付きや成長のきっかけになる、そう考えているからです。

小さくても大きくても、子どもも大人も

生まれたばかりの赤ちゃんを連れてきたお母さんのまわりに、小学生たちが興味津々に集まってる。一人っ子が恐る恐る指を出し、小さな手が思ったよりも力強く握り返してくれるのにびっくりしたり、下にきょうだいがいるお兄ちゃんに抱っこされて、赤ちゃんはご機嫌、お母さんも笑顔になる。

鬼ごっこをしている小学生たちと、そこに仲間に入れてもらう顔なじみの幼児。もちろん小さい子は全然追いつけないし、すぐ捕まってしまうけど、「オミソ」としてお兄ちゃんお姉ちゃんたちが、その子のレベルに合わせた特別ルールを工夫してくれている。

また、そんな風景をシートの上から眺めているネンネの赤ちゃんとお母さん。「いつかうちの子もあんな風に遊ぶ日が来るのね」としみじみと感じる。

そして、お散歩に来た地域の老夫婦は、「こどもが元気に遊ぶのはいいねえ。こっちも元気になるわ」と話しながら、温かく見守ってくれる。

増えるといいな、声をかけ合える関係

こどもの森では、学校では出会えない人と会えたり、道端では話しかけにくい人とおしゃべりできちゃったりします。きっと、一度知り合いになると、まちなかで出会ったときにちょっと挨拶ができたり、声をかけ合うようになるでしょう。こどもの森がきっかけになって、地域のつながりが広がるといいな。今日もごちゃまぜのこどもの森で、待っていますよ。



トリわけ驚いた、 基地のおはなし

ある日のこと。トントンと背中を叩かれ、振り返ると、そこには満面の笑みの女の子。

「ねえねえ、すごいのができたから、ちょっと見に来ない？」



手を引っ張られてついていった先には、板を組み合わせたうえから布を巻きつけた、テントのような基地。中では、すでに2人、ごろごろしながらおしゃべりを楽しんでいる。なかなか快適そうだ。

なるほど、これを自慢したくて、しんちゃんを呼んだのね。たしかに誰かに見せたくなる気持ち、わかる！

「これで、鳥つかまるかな～？」

えっ、トリ？ トリってあの鳥？ どういうこと？ 聞いてみると、どうやらもともと彼女たちは、鳥をつかまえようと罠をつくっていたらしい。見てみると、罠を見張るための場所が必要だ、となった。でも、ただ見張っているだけでは、つまらない。そこで、ここに基地をつくり、のんびりしながら気長に待つことにしたそうだ。

「鳥に見つからないように、この場所にしたんだ」

「あそこの穴からのぞくと、罠が見えるんだよ！ ばっちり！」

穴をのぞかせてもらうと、つかい棒をしたバケツの下に、木の実がおかれていた。バケツの取っ手からひもが伸びて、基地の中まで続いている。

「はやく鳥つかまらないかな～！ ジャ！」

怒涛の勢いで語り終えると、爽快と「わが家」に戻っていく彼女。鳥で、罠からの、基地か～～。子どもの発想、あそびの展開は、いつだって大人の想像の斜め上を行く。僕は少し、くらっとしながらそこに立っていた。

これからは梅雨が近づくにつれ、蒸し暑くじめじめした気候に変わっていく。そんな季節にちょっと疲れたら、子ども達の基地におじゃませてもらうことにしよう。そうすれば休憩にもなるし、罠のその後の面白い話も聞けるに違いない。

これぞまさしく、

一石二鳥？

